

# 週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

## 三重県議会議員へ水産政策要望 —水産関係団体—

8月5日(月)自民党・三重県議会議員に対して、水産関係団体で水産政策要望を行った。要望内容については、下記の通りである。

記

### 1、漁場環境・資源管理について

- (1) 豊かな伊勢湾を取り戻すための対策の実施
- (2) 豊かな漁場維持のため、大雨被害等からの早期復旧や河川流域など広域的な見地からの環境対策

### 2、強い生産基盤作りについて

- (1) 漁業者への補助事業の継続実施
- (2) 水産政策の改革における、浜との十分な連携

### 3、漁業後継者対策について

- (1) 新規就業者定着のための対策の拡充
- (2) 後継者への直接的な支援策

### 4、のり養殖振興について

- (1) 漁家経営の効率化を図る黒ノリ共同加工施設整備等への支援
- (2) 必要な海況情報の提供及び水産研究所等の協力体制の拡充

### 5、魚類養殖の振興について

- (1) 養殖漁家の経営改善や生産規模拡大への支援
- (2) 成長産業化するための支援策の検討

### 6、漁業近代化資金について

- (1) 水産振興の重要施策としての位置付けと需要に応じた安定融資枠の確保

## 三重県農林漁業就業・就職フェア

—7月20日(土)於三重県総合文化センター—



7月20日(土)、津市の三重県総合文化センター第1ギャラリーに於いて、県内の農林漁業に就業・就職を希望する方を対象に、「三重県農林漁業就業フェア2019」が開催され、県内から42事業所(内水産関係は3事業所)が出展した。当日は52名の来場者があり、各ブースでは、積極的に個別就業相談が行われていた。また、会場内には資料コーナーが設けられ、三重県漁業担い手対策協議会では、新規漁業就業者ガイドや県内漁師塾の募集チラシを配置した。

## 「熊野市遊木漁師塾」短期研修開催

—6月29日(土)~7月1日(月)於熊野市—



遊木大穀の作業倉庫前にて記念撮影

6月29日(金)～7月1日(月)、熊野市遊木町において2019年度熊野市遊木漁師塾短期研修が開催された。

この研修は、遊木地区の将来を担う漁業者候補を探すため、熊野漁業協同組合が主体となって地域の魅力ある漁業を体験してもらうことを目的としている。

今回は定置網漁業に特化した募集を行い、愛知県と大阪府から各1名の計2名が参加した。初日は地区の概要の説明、2日目と最終日までは定置網漁業体験が実施され、参加者は漁獲されたカツオの水揚げ作業や選別作業等を体験した。

研修後の就業については、受入れ先と研修生の双方で今後協議を進めていく予定。

### 第7回 Fish-1 グランプリへの 応募に係るお願い（全漁連より）

2019年11月17日(日)に東京日比谷公園にて、「第7回 Fish-1 グランプリ(2019年度)」が開催されることとなった。

Fish-1 グランプリは回を重ねるごとに来場者数や掲載メディア数も増え、全国規模で国産水産物の消費拡大や情報発信ができる場となっている。同グランプリにおいて、「プライドフィッシュの料理コンテスト」も同時に実施される。

つきましては、プライドフィッシュWEBサイト公開中の素材を活かした漁師料理や浜料理、直営の飲食店メニューなども参考にご検討の上、ご応募下さいますようお願い申し上げます。



問合せ先

三重漁連・指導部(奥田・上野)

TEL:059-228-1205・FAX:059-2254511

### 海難遺児チャリティコンペ 第14回マリンカップ開催!

7月23日(土)、津カントリーにて海難遺児チャリティコンペ第14回マリンカップが開催された。

同コンペは、海難遺児への支援を目的にNPO法人朝光クラブが主催しているもので、プレー参加費の一部を漁船海難遺児育英会へ寄付している。三重漁連や三重県漁協女性部連合会も後援しており、14回目の開催となった今回も漁業関係者をはじめとする多くの参加者が集まった。昼食時には、漁協女性部を中心に県内産各種水産物を活用した手こね寿司やフライ、味噌汁等を振る舞い、参加者は海の幸を存分に楽しんだ。

【主な予定】

○8月23日(金)

黒海苔漁期前研修会(松阪)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。